

<白金標準、中国のプラチナ付加価値税を受け駆け込み需要・・・>



(出所：オアシス)

金価格の修正に白金価格も大きく修正を行っている。特に白金標準先物は、一時 8250 円まで高値を試すも金価格の修正を受け、一時 6666 円まで下値を試すなど、短時間で 1584 円の下落を見せている。しかし天井を取った相場には見えない。特に WPIC は「2023 年以降、プラチナ市場は構造的な供給不足状態にある。需要は多様かつ堅調である一方、供給は減衰傾向にあり、地上の在庫は減少しており、現在の推計では 2025 年末までに需要のわずか 4 カ月分しか確保されず、2029 年末までに在庫はほぼ完全に枯渇すると見込まれている」と述べ、年初来プラチナ価格は最大 84%上昇したが、金に対しては依然大幅な割安水準にあると指摘している。また中国は、11 月 1 日からプラチナ製品や現物に対して 13%の付加価値税を課すと 20 日に発表し、発表を受けて欧州市場のロコ・チューリッヒのプラチナ価格は上海黄金交易所のドル建て換算価格を 160 ドル上回るなど欧州の品不足は堅調に表れている。またトランプ政権は重要鉱物に対する関税を課す動きも控えており、NY 市場で 1500 ドル、白金標準先物で 7000 円を下回ると買われる動きを見せており、下値を固める値動きに思え、7200 円以下は強気を維持するのが妥当に思える。

<テクニカル>

白金標準先物の週足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が下げながら、**シグナル** も下げている。また RCI では**短期**が下げ止まり、**長期**は切り上げている。特に日足は N 波動に移行する様であれば、8250 円が通過点になる可能性は高まると思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,930,000 円(2025 年 10 月 27 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 102,960 円(2025 年 10 月 27 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>